

学校だより

10月号



学力調査の結果から

先月号でお知らせしたとおり、六年生には、全国学力・学習状況調査の結果を、四・五年生には、標準学力調査の結果を返却しました。いずれも、年度はじめの四月に実施したものです。調査結果から、本校の全体的な傾向についてお伝えします。

① 学習面

- ・国語、算数共に県平均を上回っており、算数については全国平均も上回った。
- ・国語は、カードから情報を得て、それぞれの情報と情報の関係について考える問題に課題があった。また、自分の考えが伝わるように、必要な条件を整えて文を書く問題も、正答率が低かった。
- ・ほとんどの問題で無解答率が低いことから、児童の調査に向かう前向きな姿勢（意欲）がうかがえた。
- ・算数は、理解が進んでいることがうかがえる一方で、台形や正方形、正三角形の意味や性質について理解しているかを問う問題では誤答や無解答が多かった。
- ・基準量と比較量から決められた割合になるものを選ぶ問題（変化と関係）で、誤答が多かった。

② 生活面

- ・「自分にはよいところがある」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「学校に行くのは楽しい」と肯定的に回答している児童が、県平均と比べて大変多かった。
 - ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の問いに対して肯定的に回答している児童は極めて多かった。
 - ・課題としては、「読書の時間」や「図書館の利用頻度」が低いことが挙げられる。
- 二 四・五年生
- ・国語は、文章構成を考えたり、条件に合わせて「書く」力に弱さが見られた。文法的な設問にも課題がある。
 - ・社会は、資料から読み取る設問で課題が見られた。
 - ・算数は、計算のきまり等、数学的な基本的知識・技能に若干課題があった。
 - ・理科は、観察・実験を通して学ぶ単元に多少ではあるが課題が見られた。
- 調査結果を共通理解し、授業に最大限生かすことができるよう、学校では、職員研修を実施しました。今後も、全教職員が一丸となり、授業改善を行って、子どもたちの強みを伸ばし、課題を解決できるように取り組んでいきます。
- 御家庭でも、家庭学習への御協力をいただけると幸いです。

家庭科学習支援(5年ミシン) (9月13日15日22日27日)

5年生が、初めてミシンを学習しました。針の付け方、糸の通し方、ボビンの糸の巻き方等を学習し練習布を使って上手に縫うことができました。学校支援ボランティアの皆様が、子どもたちに、気をつけるところを的確に声をかけてくださっていました。



運動会前の環境整備 (9月22日)

学校支援ボランティアの皆様が、運動会のためにプランターの花植えを行っていただきました。暑い中、心をこめて植えてくださいました。きれいな花が、運動会を華やかにしてくれると今から楽しみです。



10月7日(土)の運動会に向けて

今年の運動会のスローガンは、全校の子どもたちが話し合っ

「すべての競技に 闘魂みなぎるたいまつ子 We can do it!」

に決定しました。

毎日暑い日が続く中、子どもたちは、運動会の練習に一生懸命取り組んでいます。今年も午前開催で、個人走・リレー・玉入れ・大玉転がし・棒引き・デカパン競争・綱引き等を行います。子どもたちが、一致団結して頑張る姿に、ご声援をよろしくお願いいたします。



〒六三九-〇二七三 奈良県葛城市染野三二番地
発行所 當麻小学校 校長 遠藤 孝晃
電話 〇七四五-四八二〇五九
FAX 〇七四五-四八七二二四
発行日 令和五年九月二十九日(金)

第375号